

作成年月日	令和4年3月31日
作成部局課室名	企画県民部 広聴課

第3回県民モニターアンケート「ひょうごの温暖化対策について」の調査結果

第3回県民モニターアンケート調査「ひょうごの温暖化対策について」の調査結果をとりまとめました。アンケート結果は、昨年3月に3年前倒しで改定した「兵庫県地球温暖化対策推進計画」の取組の参考にします。

1 調査概要

- (1) 調査テーマ：ひょうごの温暖化対策について
- (2) 調査対象者：県民モニター2,471人
- (3) 調査期間：令和3年10月29日(金)
～11月15日(月)[18日間]
- (4) 調査方法：県ホームページ上のアンケート
フォームに入力
- (5) 回答者数：1,705人(回答率69.0%)

		対象者	回答者	回答率
総数		2,471	1,705	69.0%
性別	男性	1,113	822	73.9%
	女性	1,358	883	65.0%
年代別	10～20代	109	57	52.3%
	30代	279	135	48.4%
	40代	453	283	62.5%
	50代	537	379	70.6%
	60代	520	394	75.8%
	70代以上	573	457	79.8%

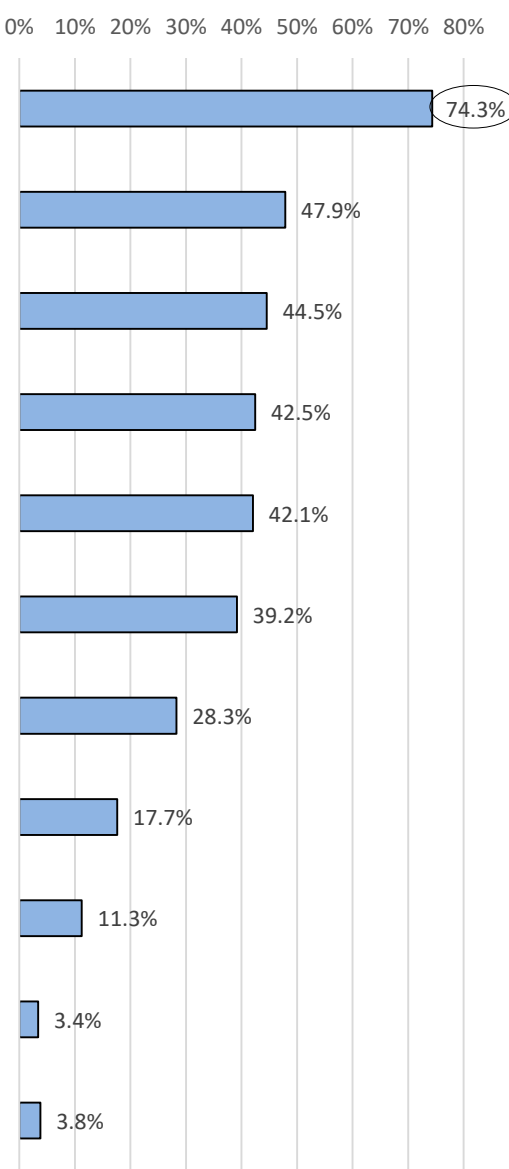
2 調査結果の概要

項目	アンケート結果
<p>Q1 県が「2050年CO2排出量実質ゼロ(※)」を表明し、「兵庫県地球温暖化対策推進計画」(令和3年3月改定)に明記したことを知っていますか。</p> <p>※「CO2排出量実質ゼロ」とは、人為的に排出されたCO2などの温室効果ガスの排出量と、森林等による吸収量を相殺すること</p>	<p>『知っている』(「表明し、それを明記したことを知っている」+「表明したことは知っているが、それを計画に明記したことは知らない」)は、33.2%になっている。明記したことまで知っている人は10.0%に留まる。</p> <p>表 明 し、そ れ を 計 画 に 明 記 し た こ と を 知 っ て い る、 10.0%</p> <p>『 知 っ て い る 』 33.2%</p> <p>表 明 し た こ と は 知 っ て い る が、 そ れ を 計 画 に 明 記 し た こ と は 知 ら な い、 23.2%</p> <p>知 ら な い、 66.7%</p>

項目	アンケート結果																		
<p>Q2 あなたは、地球温暖化の影響はすでに現れていると思いますか。</p>	<p>『そう思う』（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）は92.5%になり、極めて多くの人々が地球温暖化の影響が現れていると思っていることがうかがえる。</p> <table border="1"> <caption>アンケート結果の棒グラフデータ</caption> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>R3 (%)</th> <th>H28 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>そう思う</td> <td>68.4%</td> <td>66.1%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば、そう思う</td> <td>24.1%</td> <td>28.2%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば、そう思わない</td> <td>3.3%</td> <td>3.4%</td> </tr> <tr> <td>全くそう思わない</td> <td>1.1%</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>3.1%</td> <td>1.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ R3 ■ H28</p>	回答内容	R3 (%)	H28 (%)	そう思う	68.4%	66.1%	どちらかといえば、そう思う	24.1%	28.2%	どちらかといえば、そう思わない	3.3%	3.4%	全くそう思わない	1.1%	1.0%	わからない	3.1%	1.3%
回答内容	R3 (%)	H28 (%)																	
そう思う	68.4%	66.1%																	
どちらかといえば、そう思う	24.1%	28.2%																	
どちらかといえば、そう思わない	3.3%	3.4%																	
全くそう思わない	1.1%	1.0%																	
わからない	3.1%	1.3%																	

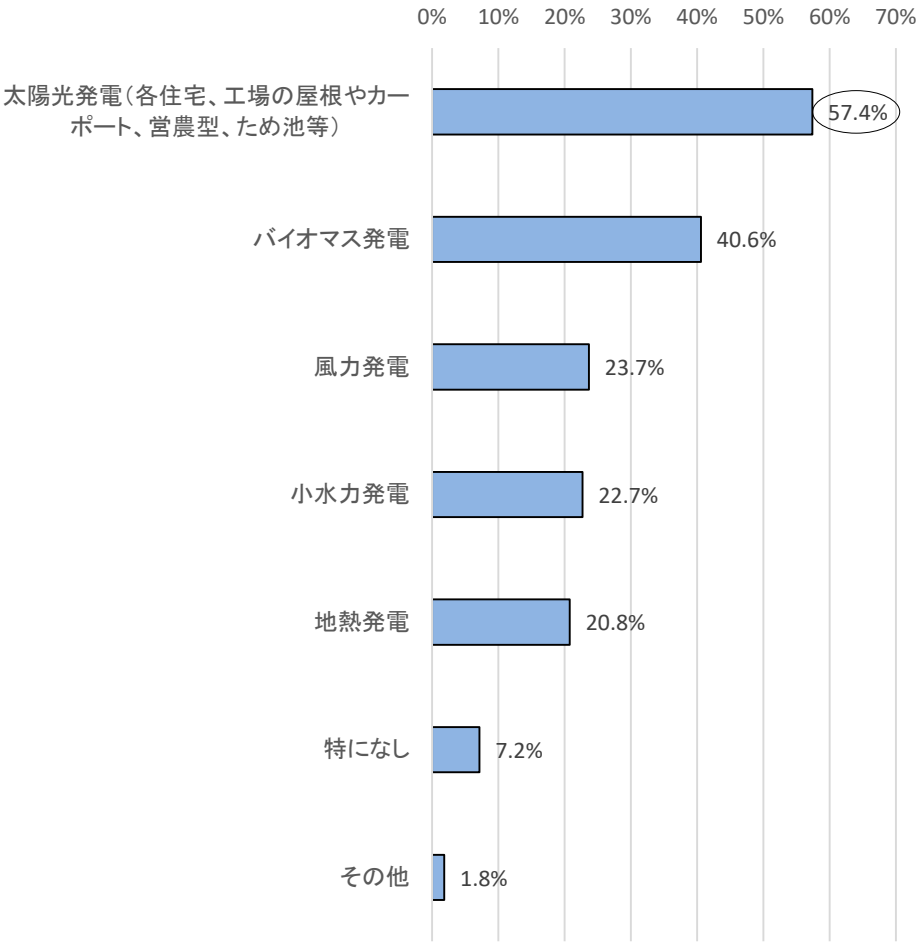
項目	アンケート結果																																				
<p>Q3 Q2で「そう思う」または「どちらかといえば、そう思う」と回答された方にお伺いします。どのような事象から地球温暖化の影響が現われていると思いますか。(該当するものすべて)</p>	<p>「気象の変化」はほぼ10割になっている(97.1%)。次いで「水害の増加(78.4%)」となっている。前回調査(H28モニターアンケート)と比較して、それぞれ6.2ポイント、13.8ポイント増加しており、平成最悪の水害である「平成30年7月豪雨(西日本豪雨)」、記憶に新しい「令和2年7月豪雨(熊本豪雨)」の影響が考えられる。</p> <table border="1"> <caption>アンケート結果の比較 (R3 vs H28)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R3 (%)</th> <th>H28 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>気象の変化(猛暑日の増加、暖冬、積雪量の変化、集中豪雨や大型台風の増加等)</td> <td>97.1%</td> <td>90.9%</td> </tr> <tr> <td>水害の増加(洪水氾濫、土砂災害、浸水被害等)</td> <td>78.4%</td> <td>64.6%</td> </tr> <tr> <td>水産物の漁獲量や魚種の変化</td> <td>56.9%</td> <td>36.4%</td> </tr> <tr> <td>海面上昇による低地の高潮被害や水没</td> <td>48.4%</td> <td>41.6%</td> </tr> <tr> <td>農作物の収穫量や品質の変化</td> <td>44.2%</td> <td>31.6%</td> </tr> <tr> <td>植物の育成の変化(サクラの開花や紅葉の時期等の変化)</td> <td>33.7%</td> <td>29.9%</td> </tr> <tr> <td>熱中症患者の増加</td> <td>32.6%</td> <td>37.4%</td> </tr> <tr> <td>昆虫や草花等、身近に見られる動植物の種類の変化</td> <td>28.3%</td> <td>29.4%</td> </tr> <tr> <td>渇水による水不足</td> <td>17.7%</td> <td>23.1%</td> </tr> <tr> <td>熱帯性の感染症の増加</td> <td>15.3%</td> <td>30.9%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2.5%</td> <td>4.6%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R3 (%)	H28 (%)	気象の変化(猛暑日の増加、暖冬、積雪量の変化、集中豪雨や大型台風の増加等)	97.1%	90.9%	水害の増加(洪水氾濫、土砂災害、浸水被害等)	78.4%	64.6%	水産物の漁獲量や魚種の変化	56.9%	36.4%	海面上昇による低地の高潮被害や水没	48.4%	41.6%	農作物の収穫量や品質の変化	44.2%	31.6%	植物の育成の変化(サクラの開花や紅葉の時期等の変化)	33.7%	29.9%	熱中症患者の増加	32.6%	37.4%	昆虫や草花等、身近に見られる動植物の種類の変化	28.3%	29.4%	渇水による水不足	17.7%	23.1%	熱帯性の感染症の増加	15.3%	30.9%	その他	2.5%	4.6%
項目	R3 (%)	H28 (%)																																			
気象の変化(猛暑日の増加、暖冬、積雪量の変化、集中豪雨や大型台風の増加等)	97.1%	90.9%																																			
水害の増加(洪水氾濫、土砂災害、浸水被害等)	78.4%	64.6%																																			
水産物の漁獲量や魚種の変化	56.9%	36.4%																																			
海面上昇による低地の高潮被害や水没	48.4%	41.6%																																			
農作物の収穫量や品質の変化	44.2%	31.6%																																			
植物の育成の変化(サクラの開花や紅葉の時期等の変化)	33.7%	29.9%																																			
熱中症患者の増加	32.6%	37.4%																																			
昆虫や草花等、身近に見られる動植物の種類の変化	28.3%	29.4%																																			
渇水による水不足	17.7%	23.1%																																			
熱帯性の感染症の増加	15.3%	30.9%																																			
その他	2.5%	4.6%																																			

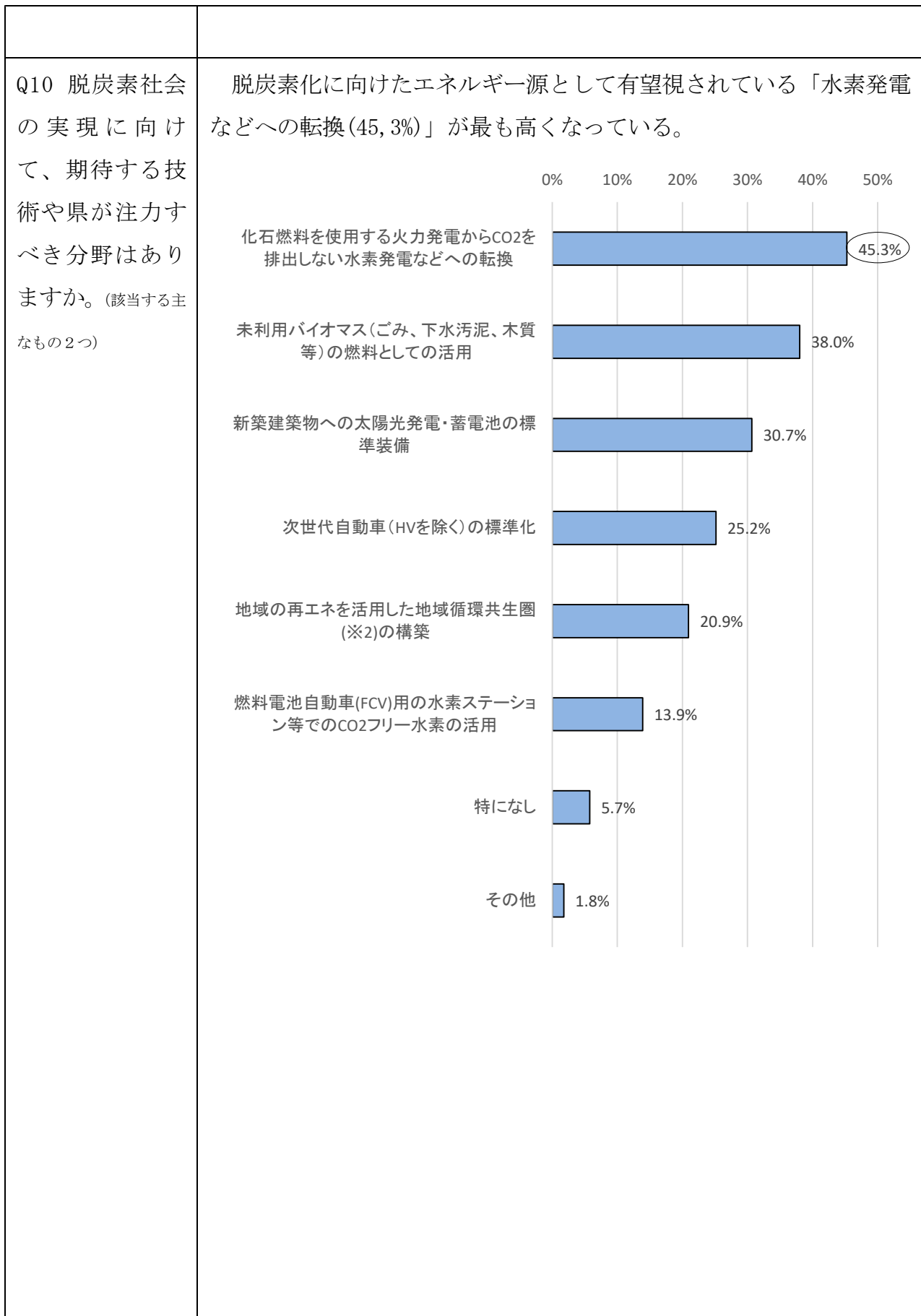
項目	アンケート結果																												
<p>Q4 地球温暖化対策の中で重要だと思うものを次の中からお選びください。(該当するものすべて)</p>	<p>「再エネ導入拡大(76.6%)」「企業での再エネ等利用促進(66.5%)」「二酸化炭素を吸収する森林の整備(65.3%)」が高くなっている。多くの人々が二酸化炭素の排出削減や吸収が地球温暖化対策として重要であると認識していることがうかがえる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>太陽光発電・風力発電など再生可能エネルギー(以下、「再エネ」)の導入拡大</td> <td>76.6%</td> </tr> <tr> <td>企業での省エネ対策や再エネ利用促進</td> <td>66.5%</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素を吸収する森林の整備</td> <td>65.3%</td> </tr> <tr> <td>公共交通の利用促進、次世代自動車の導入やエコドライブ(アイドリングストップ等)の推進</td> <td>57.7%</td> </tr> <tr> <td>家庭での取組(省エネ家電の利用・断熱等省エネ対策・再エネ電力の利用促進)</td> <td>56.2%</td> </tr> <tr> <td>自然災害に対する備え(河川整備、防潮堤、ハザードマップ、防災アプリ)</td> <td>54.0%</td> </tr> <tr> <td>雨水の再利用などの渇水対策</td> <td>37.0%</td> </tr> <tr> <td>エコスタイル(夏の軽装)、打ち水など日常生活の取組</td> <td>30.0%</td> </tr> <tr> <td>熱中症対策</td> <td>22.3%</td> </tr> <tr> <td>高温でも枯れたり品質が落ちたりしない農作物の品種の開発・普及</td> <td>19.8%</td> </tr> <tr> <td>特になし</td> <td>0.8%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>1.3%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5.5%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	割合	太陽光発電・風力発電など再生可能エネルギー(以下、「再エネ」)の導入拡大	76.6%	企業での省エネ対策や再エネ利用促進	66.5%	二酸化炭素を吸収する森林の整備	65.3%	公共交通の利用促進、次世代自動車の導入やエコドライブ(アイドリングストップ等)の推進	57.7%	家庭での取組(省エネ家電の利用・断熱等省エネ対策・再エネ電力の利用促進)	56.2%	自然災害に対する備え(河川整備、防潮堤、ハザードマップ、防災アプリ)	54.0%	雨水の再利用などの渇水対策	37.0%	エコスタイル(夏の軽装)、打ち水など日常生活の取組	30.0%	熱中症対策	22.3%	高温でも枯れたり品質が落ちたりしない農作物の品種の開発・普及	19.8%	特になし	0.8%	わからない	1.3%	その他	5.5%
項目	割合																												
太陽光発電・風力発電など再生可能エネルギー(以下、「再エネ」)の導入拡大	76.6%																												
企業での省エネ対策や再エネ利用促進	66.5%																												
二酸化炭素を吸収する森林の整備	65.3%																												
公共交通の利用促進、次世代自動車の導入やエコドライブ(アイドリングストップ等)の推進	57.7%																												
家庭での取組(省エネ家電の利用・断熱等省エネ対策・再エネ電力の利用促進)	56.2%																												
自然災害に対する備え(河川整備、防潮堤、ハザードマップ、防災アプリ)	54.0%																												
雨水の再利用などの渇水対策	37.0%																												
エコスタイル(夏の軽装)、打ち水など日常生活の取組	30.0%																												
熱中症対策	22.3%																												
高温でも枯れたり品質が落ちたりしない農作物の品種の開発・普及	19.8%																												
特になし	0.8%																												
わからない	1.3%																												
その他	5.5%																												

項目	アンケート結果																								
<p>Q5 地球温暖化対策のうち、温暖化の進行を食い止めるために二酸化炭素等の温室効果ガスの排出を抑制する対策（例えば、Q4の選択肢の1から5までの対策）を「緩和策」と言いますが、あなたが行っている取組はありますか。（該当するものすべて）</p>	<p>「マイバッグ・マイボトルの利用(74.3%)」が他と比べて高くなっている。令和2年7月からレジ袋が有料化されたことの影響も考えられる。</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>対策</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マイバッグ・マイボトルの利用</td> <td>74.3%</td> </tr> <tr> <td>ごみを減らすために3Rを実践</td> <td>47.9%</td> </tr> <tr> <td>省エネ家電等の使用、買い換え</td> <td>44.5%</td> </tr> <tr> <td>住宅の省エネ(断熱、日射遮蔽、気密対策)</td> <td>42.5%</td> </tr> <tr> <td>生ごみを減らす「3キリ運動」</td> <td>42.1%</td> </tr> <tr> <td>車の運転時にはエコドライブ(※1)に努める</td> <td>39.2%</td> </tr> <tr> <td>ハイブリッド車や電気自動車など環境に優しい車への乗り換え</td> <td>28.3%</td> </tr> <tr> <td>再エネ電力の使用(住宅に太陽光発電設置、再エネ電力へ切替え)</td> <td>17.7%</td> </tr> <tr> <td>通勤せずに、テレワークやオンライン会議を活用</td> <td>11.3%</td> </tr> <tr> <td>特になし</td> <td>3.4%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3.8%</td> </tr> </tbody> </table>	対策	割合	マイバッグ・マイボトルの利用	74.3%	ごみを減らすために3Rを実践	47.9%	省エネ家電等の使用、買い換え	44.5%	住宅の省エネ(断熱、日射遮蔽、気密対策)	42.5%	生ごみを減らす「3キリ運動」	42.1%	車の運転時にはエコドライブ(※1)に努める	39.2%	ハイブリッド車や電気自動車など環境に優しい車への乗り換え	28.3%	再エネ電力の使用(住宅に太陽光発電設置、再エネ電力へ切替え)	17.7%	通勤せずに、テレワークやオンライン会議を活用	11.3%	特になし	3.4%	その他	3.8%
対策	割合																								
マイバッグ・マイボトルの利用	74.3%																								
ごみを減らすために3Rを実践	47.9%																								
省エネ家電等の使用、買い換え	44.5%																								
住宅の省エネ(断熱、日射遮蔽、気密対策)	42.5%																								
生ごみを減らす「3キリ運動」	42.1%																								
車の運転時にはエコドライブ(※1)に努める	39.2%																								
ハイブリッド車や電気自動車など環境に優しい車への乗り換え	28.3%																								
再エネ電力の使用(住宅に太陽光発電設置、再エネ電力へ切替え)	17.7%																								
通勤せずに、テレワークやオンライン会議を活用	11.3%																								
特になし	3.4%																								
その他	3.8%																								

項目	アンケート結果																		
<p>Q6 地球温暖化対策のうち、温暖化の影響にあらかじめ備えておく対策（例えば、Q4の選択肢6から10までの対策）を「適応策」と言いますが、知っていますか。</p>	<p>「知っている(37.9%)」は、前回の調査結果(37.5%)とほぼ変わらない。</p> <table border="1"> <caption>Q6 アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>R3 (%)</th> <th>H28 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>知っている</td> <td>37.9%</td> <td>37.5%</td> </tr> <tr> <td>知らない</td> <td>62.1%</td> <td>62.5%</td> </tr> </tbody> </table>	回答	R3 (%)	H28 (%)	知っている	37.9%	37.5%	知らない	62.1%	62.5%									
回答	R3 (%)	H28 (%)																	
知っている	37.9%	37.5%																	
知らない	62.1%	62.5%																	
<p>Q7 「適応策」として、あなたが行っている取組はありますか。 (該当するものすべて)</p>	<p>命や健康に関わる「熱中症対策」が最も高く、7割を超えている(74.5%)。</p> <table border="1"> <caption>Q7 アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>取組</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>熱中症対策(日傘や帽子、こまめな水分・塩分補給等)</td> <td>74.5%</td> </tr> <tr> <td>夏の軽装などエコスタイルの実施</td> <td>57.8%</td> </tr> <tr> <td>自然災害への備え(非常用持ち出し品や食料備蓄品の準備、避難ルートの事前確認)</td> <td>50.9%</td> </tr> <tr> <td>節水・湯水対策</td> <td>38.1%</td> </tr> <tr> <td>グリーンカーテン、打ち水等で室内外の温度上昇を抑える</td> <td>29.1%</td> </tr> <tr> <td>感染症を媒介する蚊などの虫さされに気をつける</td> <td>24.4%</td> </tr> <tr> <td>特になし</td> <td>6.3%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1.3%</td> </tr> </tbody> </table>	取組	割合 (%)	熱中症対策(日傘や帽子、こまめな水分・塩分補給等)	74.5%	夏の軽装などエコスタイルの実施	57.8%	自然災害への備え(非常用持ち出し品や食料備蓄品の準備、避難ルートの事前確認)	50.9%	節水・湯水対策	38.1%	グリーンカーテン、打ち水等で室内外の温度上昇を抑える	29.1%	感染症を媒介する蚊などの虫さされに気をつける	24.4%	特になし	6.3%	その他	1.3%
取組	割合 (%)																		
熱中症対策(日傘や帽子、こまめな水分・塩分補給等)	74.5%																		
夏の軽装などエコスタイルの実施	57.8%																		
自然災害への備え(非常用持ち出し品や食料備蓄品の準備、避難ルートの事前確認)	50.9%																		
節水・湯水対策	38.1%																		
グリーンカーテン、打ち水等で室内外の温度上昇を抑える	29.1%																		
感染症を媒介する蚊などの虫さされに気をつける	24.4%																		
特になし	6.3%																		
その他	1.3%																		

項目	アンケート結果																						
<p>Q8 地球温暖化対策（緩和策や適応策）に関する情報をどこから入手していますか。（該当する主なもの2つ）</p>	<p>従来型メディア（「新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などのマスコミ」）が8割を超え（81.6%）、インターネット（Yahoo、Googleなどのポータルサイト（35.1%））を大きく上回っている。</p> <table border="1"> <caption>アンケート結果の棒グラフデータ</caption> <thead> <tr> <th>情報源</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などのマスコミ</td> <td>81.6%</td> </tr> <tr> <td>Yahoo、Googleなどのポータルサイト</td> <td>35.1%</td> </tr> <tr> <td>国・県・市町などの行政機関の広報誌やパンフレット</td> <td>24.2%</td> </tr> <tr> <td>SNS(Twitter、Facebook、Instagramなど)</td> <td>8.6%</td> </tr> <tr> <td>国・県・市町などの行政機関のウェブサイト</td> <td>8.6%</td> </tr> <tr> <td>スマートフォンのアプリ</td> <td>5.4%</td> </tr> <tr> <td>家族・知人</td> <td>2.5%</td> </tr> <tr> <td>学校・自治会など</td> <td>1.6%</td> </tr> <tr> <td>入手したことがない</td> <td>3.4%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1.6%</td> </tr> </tbody> </table>	情報源	割合	新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などのマスコミ	81.6%	Yahoo、Googleなどのポータルサイト	35.1%	国・県・市町などの行政機関の広報誌やパンフレット	24.2%	SNS(Twitter、Facebook、Instagramなど)	8.6%	国・県・市町などの行政機関のウェブサイト	8.6%	スマートフォンのアプリ	5.4%	家族・知人	2.5%	学校・自治会など	1.6%	入手したことがない	3.4%	その他	1.6%
情報源	割合																						
新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などのマスコミ	81.6%																						
Yahoo、Googleなどのポータルサイト	35.1%																						
国・県・市町などの行政機関の広報誌やパンフレット	24.2%																						
SNS(Twitter、Facebook、Instagramなど)	8.6%																						
国・県・市町などの行政機関のウェブサイト	8.6%																						
スマートフォンのアプリ	5.4%																						
家族・知人	2.5%																						
学校・自治会など	1.6%																						
入手したことがない	3.4%																						
その他	1.6%																						

項目	アンケート結果																
<p>Q9 今後、県内で導入する再エネとして期待する、又は地域で拡大が期待できる種類はありますか。(該当する主なもの2つ)</p>	<p>普及している太陽光発電が最も高く、6割近くになっている(57.4%)。</p>  <table border="1" data-bbox="459 331 1385 1272"> <thead> <tr> <th>再エネの種類</th> <th>期待される割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>太陽光発電(各住宅、工場の屋根やカーポート、営農型、ため池等)</td> <td>57.4%</td> </tr> <tr> <td>バイオマス発電</td> <td>40.6%</td> </tr> <tr> <td>風力発電</td> <td>23.7%</td> </tr> <tr> <td>小水力発電</td> <td>22.7%</td> </tr> <tr> <td>地熱発電</td> <td>20.8%</td> </tr> <tr> <td>特になし</td> <td>7.2%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1.8%</td> </tr> </tbody> </table>	再エネの種類	期待される割合	太陽光発電(各住宅、工場の屋根やカーポート、営農型、ため池等)	57.4%	バイオマス発電	40.6%	風力発電	23.7%	小水力発電	22.7%	地熱発電	20.8%	特になし	7.2%	その他	1.8%
再エネの種類	期待される割合																
太陽光発電(各住宅、工場の屋根やカーポート、営農型、ため池等)	57.4%																
バイオマス発電	40.6%																
風力発電	23.7%																
小水力発電	22.7%																
地熱発電	20.8%																
特になし	7.2%																
その他	1.8%																



※ 報告書中の数字は、四捨五入による端数を調整していないため、内訳と計は必ずしも一致しない。

【 問い合わせ先 】 企画県民部広聴課 (TEL078-362-3021)